

フィリピン FEATI 大学へ丸ノ内線 02 系車両を譲渡します

海外の鉄道人材育成のための教材として無償譲渡

東京地下鉄株式会社（本社：東京都台東区、代表取締役社長：山村 明義、以下「東京メトロ」）は、フィリピン FEATI 大学へ教材として丸ノ内線 02 系車両 2 両を無償譲渡します。

東京メトロは現在、独立行政法人国際協力機構発注の「フィリピン国フィリピン鉄道訓練センター設立・運営能力強化支援プロジェクト」への参画を通して、フィリピンの鉄道人材の育成に携わっています。

フィリピンでは、複数の鉄道プロジェクトが進行中であり、今後、鉄道人材の需要が増加することが見込まれています。そのような背景のもと FEATI 大学は、私立大学初の鉄道関係学科を新設することとなりました。東京メトロは、鉄道訓練センターのプロジェクトを通して、FEATI 大学と友好関係を築く中で、同大学から当社が保有する車両などの鉄道関係設備の寄贈依頼があり、またフィリピン運輸省からも協力要請がありました。

東京メトロとしては、本寄贈がフィリピンにおいて日本の鉄道システムを理解する人材育成に資することやフィリピン鉄道市場における当社の認知度を高めることが期待できること等の観点から、車両更新時期にあわせて、丸ノ内線 02 系車両を無償譲渡することといたしました。

譲渡する丸ノ内線 02 系車両は海を渡り、2020 年 2 月に FEATI 大学に設置され、同大学において教材として活用されることとなります。

東京メトロは、引き続きフィリピンにおける鉄道人材の育成への支援を行い、フィリピンの都市交通機能向上、日比両国の友好関係の強化につながるよう努めていきます。



譲渡にあたり実施した贈呈式の様子



譲渡する丸ノ内線 02 系車両

【参考1】FEATI 大学 (FEATI University) 概要

1946年、航空工学（パイロット、整備士養成）の単科大学として発足。以来、海洋工学（船員養成）、経営学、建築学等の学科を開講、職業訓練を主眼とした教育を行っている。鉄道業界では、The Light Rail Manila Corporation（マニラ首都圏におけるライトレール運営会社）ほかフィリピンの各事業者に卒業生を輩出している。同大学は、フィリピン初の鉄道「技術」大学課程を立ち上げる大学となる予定。

【参考2】譲渡を受ける FEATI 大学のコメント

FEATI 大学はフィリピンにおける航空大学の第1号ですが、本日をもってまた新たな第1号、すなわち、キャンパス内に実際の車両を有する最初の大学となりました。譲渡いただいたこの車両をもって、工学部の学生達は実際にこつを覚えて体験型の研修等を受けることにより、東京メトロの社員の皆さんと同じような研修を受けることができるようになるというのは、非常に意義深いことです。

学生に対してクラス内の講義だけでなくワークショップや体験型の学習を通してより建設的な学びをしてもらうということは、私どもにとって長年の目標でしたが、今回それが実現することとなりました。

今回、キャンパス内に実際の車両を持つことが、より多くの学生にとって鉄道の学位を取りたいという動機づけになるものと信じています。また、それによってわが国だけでなくアジア、ヨーロッパ、中東等で鉄道に従事する人材を育成できることと思っています。